

まちづくり交付金 フォローアップ報告書  
兼続地区

平25年9月

新潟県南魚沼市

# 1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	定住人口	人	7,171	7,100	7,080	確定	△	あり	7,045	H25年4月	△	予想以上に人口減少が続いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	定住人口は市内全域でも減少の流れの中、目標値の7,100人に若干達しない状況ではあるが、他地区の減少率及び市内平均の減少率と比較すると、平均では△4.31%のところ当該兼続地区では△1.76%に抑制出来ている。また、世帯数の増加を検証した結果では、単身世帯や核家族化が市内全体としても増加傾向にあるが、当兼続地区は特にそれが顕著に表れており、世帯数が伸びており、定住人口増加の兆しが見られる。
指標2	主要観光施設への来客者数	人	88,334	100,000	76,406	確定	△	あり	81,648	H25年6月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	不況、災害の影響を受け宿泊での観光を取り巻く環境が悪化し、数値目標には、はるかに及ばないが減少傾向の中、前年度の数値を上回ったことは評価でき回復の兆しも見えてきた。
指標3	六日町駅の乗降客数	人/日	5,637	5,637	5,313	確定	△	あり	5,754	H25年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	近隣駅の乗車人員の減少傾向が続く中、当該駅は増加が確認できた。上越線、ほくほく線が乗入れ、バス路線の拠点でもあり、また駅からハイキングや周遊バスといった事業も実施され、交通ネットワークの拠点としての役割を果たしている。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	定住人口減少率	%	△4.12	△1.27	確定	/	/	△1.76	H25年4月	/	予想以上に人口減少が続いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	定住人口では、南魚沼市全体でも減少している。しかしH18年度との減少率を比べると、南魚沼市全体では△4.31%の減少に対し、「兼続地区」では△1.76%の減少に留まっているため、減少抑制効果は得られたと思われる。	
その他の数値指標2	イベント数	件	13	20	確定	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域の活性化、交流人口の拡大を目指した地域団体の機運が高まり、自発的なイベントの開催が増加している。地域住民のまちづくりに対する意識の醸成も図られ、着実な成果となっている。	
その他の数値指標3			/	/	確定	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	施設等の適正な維持管理	・商店街組合等管理担当団体による定期的な清掃と管理 ・破損案件については共済制度を利用したの修繕の実施と監視 ・ダミーカメラの設置を行った。	・概ね維持・管理状態がよく保たれ、利用者から好評を得ている。 ・退所後、故意の破損事件は発生していない。	・経年劣化による維持費等の増加。 ・管理する団体と行政の連携体制の継続
	施設等の有効利用のためのPR	・Facebookを利用したの情報の発信	・情報の広がり方が従来のWeb等と違い広く、全く予想していない年齢層などからの来訪、問い合わせが増えた。	・情報の管理統制の方法
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	展示内容刷新のための関連資料の早期収集	・展示物の一部刷新と展示配置換え、建物・設備の改修による充実を図った。	・地元小学生も含め、見学者の減少に歯止めがかかった。	・関連資料の大きかりな収集と、歴史資料の整理
	地盤沈下はつづいており、根本的な解決が見つかっていないため、消雪パイプに代わる融雪システムの検討整備	・地盤沈下の観測事業を引き続き実施し、地下水採取規制とともに地下水利用監視を図った。 ・地下水に頼らない融雪システムの検討。	・地盤沈下は少しずつ続いている。 ・地下水に頼らない画期的な融雪システムは見つからない。	・地下水に頼らない融雪システムを継続して検討。
	周遊ルートに存在する被害を受けた施設等の早期復旧	・兼続地区における散策道等、周遊ルートの修復はほぼ終了しているが、坂戸城跡の修復については現在も継続している。	・周遊ルート、坂戸城跡への来訪者が災害前の状態に戻ってきている。	・坂戸城跡の修復整備の時間、費用

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
新図書館を活用したまちなか活性化	図書館ができることをきっかけに六日町エリアのまちなかがどのように活性化していくと良いか、図書館とまちなかを繋ぐ活性化に向けてのワークショップを実施し、親しみのある図書館を目指して、活用の方法や図書館から街中へ人が繋がっていくアイデアの実現を目指す。	H25	新図書館は通常の図書館の役割を担いつつ、スーパーや医療施設との複合施設と一緒に駅前のにぎわい、市街地のにぎわいを取り戻すという、六日町駅前の活性化という重要な役割を担っています。また電車等の利便性も良く、市内の中心に設置されることから、幅広い年齢層が利用しやすい位置であり、新たな効果が期待できる。